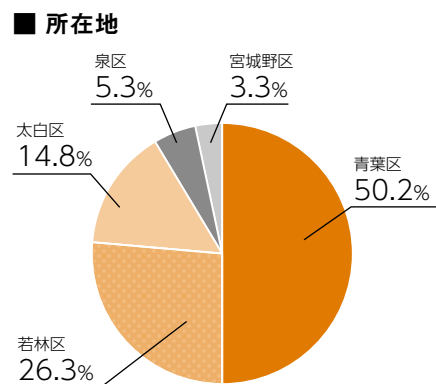
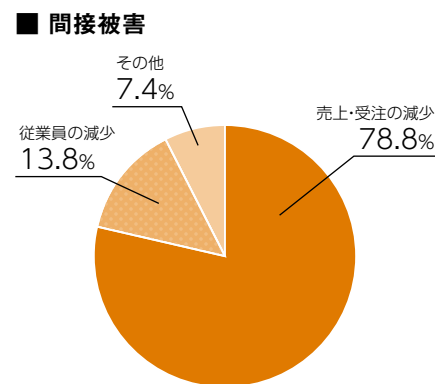
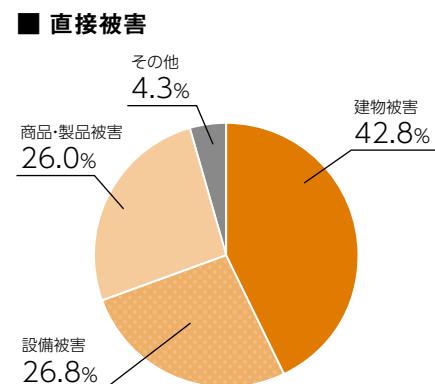


資料 アンケート調査結果

1 商店・事業所の基本情報



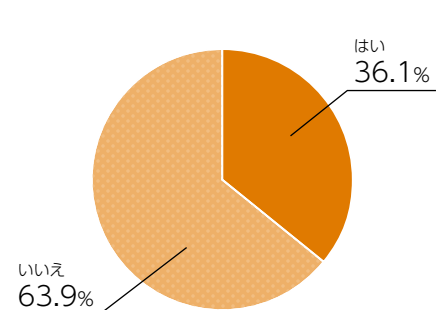
2-1 震災発生直後の状況 | 被害状況



2-2 震災発生直後の状況 | ライフラインの状況



2-3 震災前に防災対策を行っていましたか。

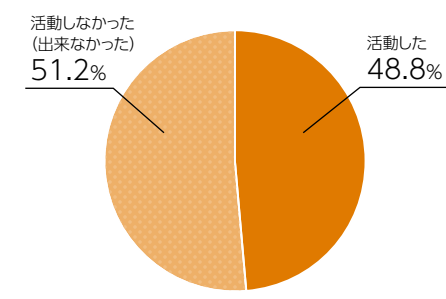


防災対策の具体的な内容

- ・災害発生時の役割分担、ロールプレイング実習、消火器の定期点検等
- ・店のマニュアルに従い、年数回、避難訓練を実施
- ・防災セットを何セットか常備
- ・懐中電灯の設置、各アトリエに担当者を設けた
- ・防災訓練の実施、事業継続計画や防災マニュアルを作成して従業員へ配布、定期的なミーティング
- ・飲料水、食料、乾電池等の備蓄と緊急連絡網の整備
- ・家具の転倒防止器具の設置、井戸水や石油コンロ等の使用確認
- ・担当者が地域の防災訓練に参加し、他の従業員への指導を実施
- ・従業員の災害時伝言ダイヤル等の徹底確認
- ・町内会と連携した食糧や物品の確保と備蓄

3-1 支援・ボランティア等の活動について

支援・ボランティア活動を行いましたか。



活動した理由

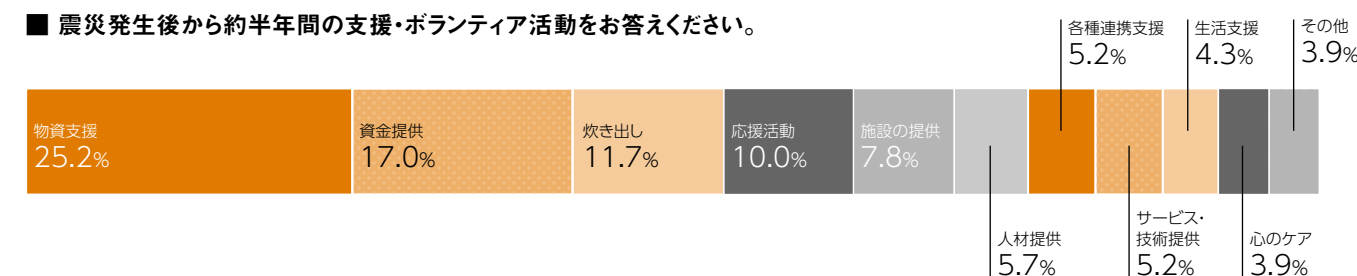
- ・非常時にこそ地域の役に立つべきだと常々思っていたから
- ・地元の復興に少しでも役立てることができればと思ったため
- ・被災された方々に少しでも笑顔になってもらいたいため
- ・津波被害者に比べれば、自分は大した状況ではないと思ったから
- ・会社の経営ビジョンに「地域貢献に積極的に参加する」を掲げており、このような時こそ実践が必要と判断したから
- ・取引先から支援物資が集まり、支援ができる資材を調達できたから
- ・困った時はお互い様なので、できる限りのことをやろうと自然に思い立ったから

活動しなかった(できなかった)理由

- ・自社のことや取引中の販売店への対応に追われて、精一杯だったから
- ・お客さまに食料を供給するのが仕事なので、すぐにお店の復旧作業に取りかかったから
- ・支援(復旧)隊受け入れ対応のため、電力・電話・プレハブなどの準備に追われていたから
- ・従業員が高齢だったため
- ・スタッフに自宅が津波被害を受けた者がいて、ギリギリの人数で営業をしていたため
- ・交通機関がストップしている間、遠方からのお客さまが事務所に滞在していたため
- ・当店へ一時避難所として近隣の方が集まり、その対応に追われたため
- ・テナントのため、独自活動は不可能だったから

3-2 支援・ボランティア等の活動について

震災発生後から約半年間の支援・ボランティア活動をお答えください。



1. 物資支援

- ・亙理町の仮設住宅、芸術関係団体へ子供用クレヨン等を提供
- ・南材木小学校学区へ食材を提供
- ・志津川、荒井、名取、福島へ衣類や食品を提供
- ・気仙沼へマスク5000枚を提供
- ・唐桑町へ宮城県理容生活衛生同業組合を通じて、全国からの支援物資を輸送
- ・石巻市、気仙沼市等へ支援物資輸送用車両としてレンタカーを提供
- ・塩釜の公民館や多賀城の避難所へポップコーンを持参
- ・女川町、気仙沼へ歯ブラシ等の口腔衛生器具を提供
- ・岩沼市総合体育館・東松島市ひびき工業団地へお菓子や玩具を提供
- ・南三陸町へ栄養ドリンク5,000本を提供
- ・仙台岡田仮設住宅へ有田焼産地からの食器提供を仲介支援
- ・避難所となっていた長町小学校体育館へ米を一俵提供
- ・南三陸町志津川字大森へ飲料水約100本を搬入
- ・動物管理センター仙台へキャットフード・ドッグフードを提供
- ・岩手県宮古市内、宮城県亙理町内にある避難所へ玩具を提供
- ・蒲町・蒲町中学校・勤労者体育館へ衣類を提供
- ・理美容関係団体や個人経営サロンへ美容器具、備品等を提供
- ・復興市へ出店し、商品を格安で販売
- ・仙台市PTA協議会へ愛知県岡崎市からのランドセル300個提供の仲介支援
- ・石巻へ中古自転車を提供
- ・仙台市内幼稚園、福島県新地町へ魚、野菜、練り製品、韓国のり160袋を提供

2. 資金提供

- ・みやぎびっきの会、あしなが育英会へ売上金の一部を

寄付

- ・石巻市、南三陸町へ見舞金を送った
- ・食品を通常の半額で販売
- ・チャリティ活動を企画・運営し、収益金を東日本大震災みやぎこども育英募金へ寄付
- ・宮城県・福島県・岩手県の各子ども団体へグッズの売上金を寄付
- ・指定商品一食につき100円をお客さまに寄付していただき、石巻市の同業店へ送った

3. 炊き出し

- ・南材木小学校で米・食材の提供
- ・フロント青葉通店前でスープと缶コーヒーの提供
- ・自店舗前でおにぎりを提供
- ・石巻・南三陸・若林・女川等でカレー・とん汁の炊き出し
- ・卸町内で白米炒飯を提供
- ・地域住民へおむすび、弁当を提供
- ・長町小学校の体育館で炊き出し
- ・北六番丁小学校で手伝い
- ・仮設住宅へ牛タンを提供
- ・蒲町中学校へ食事を提供
- ・気仙沼でお寿司の提供
- ・石巻商店街で雙弁当の炊き出し
- ・うどん、そばを調理して提供
- ・サッポロビール工場内・南三陸町他で炊き出し

4. 応援活動

- ・塩釜仲介市場で仕入作業
- ・南三陸町志津川で海産物購入
- ・気仙沼、塩釜地でカットやドライシャンプーボランティア
- ・神社集会所へ発電機の貸し出し
- ・石巻の渡波小学校、専修大学で泥のかき出し作業、がれき撤去
- ・石巻市・女川・気仙沼・いわき市等で食材の購入

- ・石巻市・東松島市のかき養殖業・のり養殖業者で食材購入
- ・東松島市小野で仮設住宅のお母さん方の手作り人形販売
- ・石巻市、石巻青果市場で、仙台から大量仕入れ
- ・NPO法人青少年育成開発協会(YGS)へ白米の提供
- ・亙理町の農家のイチゴ購入
- ・フェアトレード団体からの支援物資を販売し、仮設住宅などの就労支援を応援
- ・店の食材を幼稚園へ直送
- ・復興の状況をみながら、外部購入から現地購入へと切り替えた
- ・県内で全国の信用金庫との橋渡し

5. 施設の提供

- ・全国各地からの復旧活動作業員の宿泊受け入れ
- ・動物支援団体へ物資保管倉庫を提供
- ・自社所有の賃貸マンション等を宮城県へみなし仮設住宅として提供
- ・市民へ水、電気、トイレの使用を無料で提供
- ・地域住民の方々へ入浴施設を開放し、支援活動部隊の基地としても施設を提供
- ・携帯電話の充電サービスを店頭で提供
- ・レンタカーの借用期限を延長し、継続使用で提供
- ・店舗を震災当日の一時避難所として提供

6. 人材の提供

- ・開上地区などで、被災家屋の泥出し片付け等
- ・被災地の後片付け等の手伝い
- ・長町小学校体育館へ町内会として
- ・開上(名取市役所)へ、一番町から物資の運搬
- ・南材木小学校で炊き出し
- ・福島県の風評被害地域の農家へ、野菜・果物の植付、収穫作業の支援
- ・松島町でカキの施設の清掃等

資料 アンケート調査結果

- ・石巻市立町で飲食店内の清掃等
- ・宮城野区・若林区ボランティアセンターでスタッフとして活動

7.各種連携支援

- ・NPO法人“東北の造形作家を支援する会”とワークショップ派遣などを行った
- ・東北ヘルプと海外からの支援コーディネートを行った
- ・宮城県仙台美容協会と連携した移動美容室での活動
- ・松島町と連携した復興ボランティア支援
- ・NPO法人“東日本地域放送支援機構”の立ち上げ、臨時災害放送局への支援
- ・NPO団体からの支援物資を店でチャリティー販売などを行った
- ・宮城県内全域のさまざまなNPO団体と連携して支援活動を行った
- ・融資制度を利用して県・市と連携した

- ・仙台青年会議所へドラマ缶を提供
- ・社会福祉協議会とボランティアセンター運営に協力

8.サービス・技術・ノウハウの提供

- ・洗髪・カットなどのサービス
- ・名取市高館小学校、船岡太陽の村で整体施術
- ・仙台市内で組織している会員さまへ、被災者仲介手数料免除による住宅あっせん情報の周知を図った
- ・七ヶ浜の仮設住宅で調髪サービス

9.生活支援

- ・仮設住宅へ野菜等を提供
- ・障害者の衣類や食料等の支援物資を保管
- ・地域住民の方々に携帯電話の充電と生活用品を提供
- ・公益社団法人整体協会として避難所や施設でマッサージを提供
- ・お客さまのご自宅で食事を提供

- ・仮設住宅等で会話できる場の提供やイベントを実施

10.心のケア支援

- ・お年寄りの一人住い宅や避難所を巡回し、声掛けや話相手として活動
- ・名取市役所・石巻市河北総合センターへ移動式映画バスで支援活動

11.その他

- ・東松島市、七ヶ浜で清掃活動
- ・石巻市内取引先数社へ計量器の貸し出し
- ・女川町の卸町、浜地区、指ヶ浜地区へ船、網、軽トラック、フォークリフト等を提供
- ・気仙沼で人材の受入

- ・美術関係者と連絡、協力したこと
- ・自分が歯科医師、歯科衛生士であったこと
- ・当社は接客することを業務としているため、積極的に人とのつながりがもてたこと
- ・ボランティアをしてくれた方自身も大変な中、活動してくれたこと
- ・仕事による経験を有した人材がいたこと
- ・従業員が防火訓練、消防訓練を活かされたこと
- ・商店街のみなさんが活動していたこと
- ・全寮制のためスタッフがいたこと
- ・調理技術を有する人材がいたこと
- ・人数が多い分、流されたサロンのスタッフへ、必要な道具をまかなうことができたこと
- ・写真を修整する技術を持った人材、写真印画紙の性質を熟知した人材が社内にはいたこと

4.技術・ノウハウ

- ・バック類、米の準備等が多数できたこと
- ・アウトドアをやっていたのでライフラインが無くても、何とかやっていけたこと
- ・店の2階にキャンプ道具があり、かなり役に立ったこと
- ・美術知識を使ったワークショップができたこと
- ・被災動物の治療ができたこと
- ・髪のカット技術があったこと
- ・職業上、料理についての知識があったこと

- ・髪をカットして喜ばれたこと。なにより技術がないとできないこと
- ・写真を修整する技術があったため、被災したプリントを修復できたこと
- ・飲食店としてのノウハウがあったこと

5.情報

- ・動ける人たちで役割分担をして動いたこと
- ・どこで何が不足しているかの情報があつたこと
- ・知人や、新聞からの情報があつたこと
- ・同業者と情報交換できたこと
- ・経営者グループとのつながりで多くの情報が得られたこと
- ・道案内、各種情報の提供があつたこと
- ・営業範囲が東北6県だったため、県外への支援もスムーズに行えたこと
- ・営業しているお店や病院の情報を提供できたこと

6.資金

- ・寄付、自分も苦しいがもっと苦しい人たちのため何かしたかったから
- ・売上の一部を寄付することができたこと
- ・各団体を通して寄付をした
- ・売上の一部を寄付金にあてることができた
- ・各団体との連携ができたこと
- ・店に来たお客さまに、つり銭を寄付金としていただいたこと

- ・店舗、事業所、アパートの修繕費を提供できたこと

7.その他

- ・近隣施設管理者等との面識があつたこと
- ・宮城県沖地震の時の経験が役に立った
- ・お得意さまの復旧作業に専念したこと
- ・日頃のサークル活動での支援活動を積極的に取り組んだ
- ・社員教育。被災した社員も数多くいる中、地域貢献がモットーという社風に全社員が賛同し、支援活動に積極的に参加したこと
- ・レンタカーを休む場所としてお客さまに提供できたこと。家の代用として利用してもらった
- ・阪神大震災を経験していた社員がいて、落ち着いて行動できた
- ・日頃から全国の障がい者団体、県内の福祉関係者やNPOと連携していたため、外部からさまざまな助けを受けながら被災地支援ができた

3.3 支援・ボランティア等の活動について

■ 支援・ボランティア活動に参加した貴店・事業所の方は何人でしたか？



3.4 支援・ボランティア等の活動について

■ 役立ったこと・有効だったこと



1.人的・組織的なネットワーク

- ・フランチャイズ経営を通して、本社とのネットワークを築けていたこと
- ・施設同士の横のつながりがあったこと
- ・炊き出しやボランティア活動等、すべては日頃の人と人とのつながりがあってこそ乗り切れた
- ・仙台市以外、他市場の情報等をいち早くつかむことができたこと
- ・仕事で知り合ったマスコミ関係者に、被災プリントを無償で修復するアピールをもらうよう、お願いできたこと
- ・宮城県内の同業者とグループを作っていて、国内外の関係者に存在を知ってもらっていたこと
- ・蒲鉾組合を通じ、互いに不足している物等の交流促進が図れたこと
- ・不動産会社28社の組織で、勉強会を行ったり、賃貸住宅における業務の適正化等の話し合いを定期的に行っていたことで、被災者への住宅提供業務が円滑に行うことができたと思う
- ・商興会・茶道の先生方とのつながりにより、イベントを企画できたこと
- ・名取市役所の知人の要望に沿った物資を運ぶことができたこと
- ・宮町商店街復興組合、山形県西川町との連携があったこと

- ・ボランティア団体TSUNAGARIさまとの縁がなければ、炊き出し実現は難しかった
- ・所属している組合の全国組織からの金銭的支援が有り、被害店舗に配分できたこと
- ・経営者グループとのつながりで、多くの情報が得られたこと
- ・地元工務店等の関係
- ・ご近所の店同士の情報交換
- ・たばこ組合、商工会議所女性会が役に立った
- ・仕入れ先との連携
- ・お付き合いのあるお客さまに、米を提供してもらったこと
- ・食料が不足していた中、避難所に米一俵を寄付できたこと
- ・地元企業との連携できたこと
- ・同業・他県のネットワークが強かったこと
- ・町内会との連携があったこと
- ・ブロック毎の支援態勢があったこと
- ・色々な組織とのつながりを持っていたことで、連携できたこと
- ・取引先や店に来店するお客さまが継続的な支援活動にとっても協力的だったこと

2.物資

- ・生活必需品(しょうゆ、マヨネーズ等の食品)があったこと

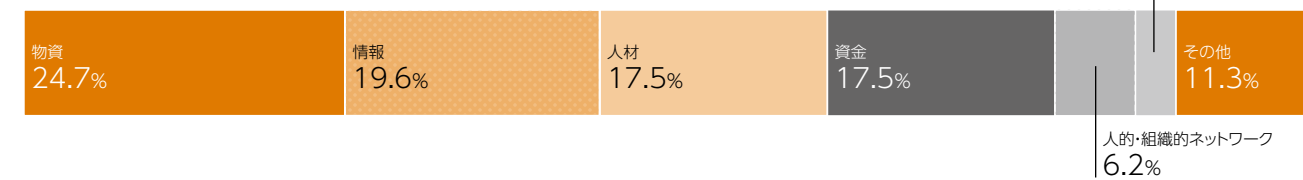
- ・冷凍の食料があったこと
- ・全国の理容組合から物資輸送が届いたこと
- ・七輪と炭を保管していたこと
- ・マスクの備えがあったこと
- ・町内会と連携できたこと
- ・食品を製造する会社だったので、倉庫にある物資をいち早く提供できたこと
- ・天水を自宅に大量に保管し、商売柄、多くの食品を冷凍保存していたこと
- ・レンタカーをがれきの撤去のなどに有効利用できたこと
- ・災害時に物品の支援を、相互にお願いしていたこと
- ・防災グッズがあったこと
- ・食材を備蓄していたこと
- ・料理を作る上で足りない材料を店舗から持ち出せたこと
- ・材料と機械があったこと
- ・グループ企業との連携で不足を補うことができたこと
- ・保存食を備蓄していたこと
- ・飲料、ティッシュペーパーがあったこと
- ・近隣の人たちに提供できる物資があったこと

3.人材

- ・パート・アルバイトの人たち、中学生の職場体験者、従業員、家族の他、お客さまも手伝ってくれたこと

3.5 支援・ボランティア等の活動について

■ 不足していたこと・不十分だったこと



1.物資

- ・物資が十分に集まらなかったこと
- ・水の量が少なかったこと
- ・ガソリンがなく、物資をなかなか手に入れられなかったこと
- ・ガソリン不足により、物資が不足した。自転車で運んだ
- ・遠方に支援するためのガソリンが不足していたこと
- ・ガソリンの備蓄は法令で40リットル以下に制限。このため、レンタカーの燃料を補充できなかったこと
- ・移動美容室としての設備が不足していたこと
- ・食料・燃料等の生活必需品の確保手段がなかったこと
- ・備品の蓄えが不足していたこと
- ・炊き出しの材料の入手が困難だったこと
- ・震災直後の物資、物流の工面が大変だったこと

2.情報

- ・ライフラインが絶たれてしまった
- ・水道、ガスの復旧情報がなかなか伝わってこなかった
- ・停電のため情報が入ってこない
- ・どこに誰に何をあけられるかが分からなかった
- ・ボランティア実施先の状況について、実際に足を運び確認する必要があった
- ・情報が停電のため入らない。今の電話は電気がないと機能しないため
- ・仙台市へ炊き出しを申し込んでも、必要な場所等の情報が伝わってこない

- ・営業所内にもテレビ、ラジオが無い
- ・携帯電話がつかまらない

3.人材

- ・休日ボランティアにあてたことで、長期的に無理が出てきた
- ・当社も被災し、人的支援をする余裕はなかった
- ・採配をふるえる人材が乏しかったこと
- ・社員の数が少ないので、動けるのが1人か2人だったこと
- ・スタッフが女性のみなので、力仕事ができなかったこと
- ・スタッフへの教育が不足していたこと
- ・大人数の方が何をすることも助かることを実感した
- ・営業再開にあたり、人材が足りなかった
- ・震災後のスタッフ減により、支援への手が回しづらくなったこと
- ・コーディネーターが不足していたこと

4.資金

- ・できればより多く寄付したかった
- ・資金もまったく無い中、仕入れをするのが大変だった
- ・経営が厳しくなり、広報他、全ての面で不足した
- ・ビルを購入した直後に被災したため、ビルの修繕費用を新たに借入れをしなければならず、負担額が増加した
- ・自社も被害を受けたため
- ・修繕費用捻出で資金不足に陥った

5.人的・組織的なネットワーク

- ・人材の余裕がなかった
- ・少人数ではできないことに限りがある。人的確保のネットワークがあれば多くの人々に食の安心・安全を提供できる

6.技術・ノウハウ

- ・震災直後のインフラ整備等には専門的な知識が必要

7.その他

- ・自らが経営している複数の店舗の立て直しに精一杯だった
- ・医療行為ができる時間を設けてもらえば、多くの方に喜びを味わってもらえたと思う
- ・地震直後は家族の安否確認で全く動けなかった。その後ガソリン・食料が不足し、自分の会社のビルの修理、管理しているアパート、ビルの入居者との対応に時間がかかった
- ・震災から1、2カ月経過すると、ボランティア受入側の窓口(特に行政関係)が、紹介や相談になかなか乗ってくれないようになった
- ・火災保険・地震保険では対応できない、バイク・自転車の商品がダメージを負い、再販売するための修理に費用がかかった

3-6

■ 支援・ボランティア活動の様子や状況を記録したものはありますか。

ある …22.2% ない …77.8%

3-7

■ 震災以降、支援・ボランティア活動について対応マニュアル等作成しましたか。

した …15.0% しない …85.0%

3-8

■ 支援・ボランティア活動は、現在も継続していますか。

継続中 …27.4% 終了 …72.6%

3.9 支援・ボランティア等の活動について

■ 貴店・貴事業所の支援・ボランティア活動を行ってのお気持ちに近いものをお選びください。

満足している 25.8%	どちらともいえない 55.1%	満足していない 19.1%
-----------------	--------------------	------------------

1.満足している

- ・お互いに助け合うのは当然のことだと思う
- ・売上の数%とはいえ、寄付しているので
- ・大したことはできなかったが、できることをやったので満足でした
- ・未来を担う子どもたちの為に、制服・体操着のメーカーとしてできることを支援できたため
- ・被災組合員の売上減に対し、共済掛金の負担軽減を実施した。大いに喜ばれ復興の一助になった
- ・当社が支援した団体や市町村から感謝のお手紙が届き、今もなお一体感が生まれている。阪神大震災の際、神戸の同系列企業へ支援していたが、東日本大震災の際には逆に手厚い支援をいただいた
- ・支援活動を通して、被災された方々の笑顔に触れることができたため
- ・お店が開店できない中でも、肌着やくつ下、防寒衣料を提供できた
- ・停電等により、火が使用できない状況下の中で、そのまま食べられる蒲鉾を、病院や避難所に支援することができたこと
- ・おのおのが、できることをすれば良いと思うため
- ・亡くなった方の写真や、大切な思い出の写真を修復し、お渡しした時の喜びは忘れられません。また全国から支援を申し出ていただき、活動に参加していただいたことがよかったです
- ・できることをした為
- ・たくさんの方に喜んでもらえた。困っていた方の助けになれた
- ・通りにかかる人々が、お花を見て癒されるか一言一言、言ってくれたことが今でも心に残っている
- ・震災直後のボランティア活動で中心となるボランティアセンターのスタッフとして活動できたから

2.どちらともいえない

- ・もっと炊き出し活動をやりたかったが、募金が集まらず、自分たちの生活も厳しかったので
- ・町内での活動、支援準備がなかったため個人での行動だった
- ・電気が来るまでの3日間だけだった。その後もたくさんの方が手伝いに来てくれて、感謝でいっぱいだった
- ・思ったほど支援ができなかった。自宅に支援できるほどの物資がなかった
- ・できる範囲での支援を考えていたから

- ・もう少し活動してもよかったかなと思っている
- ・現在、経営上厳しい状態にあり、会社では活動継続できないが、スタッフ一人ひとりには、まだまだ意識は高い
- ・参加人員が激減し、継続するほど、マンネリ化を感じる
- ・もう少しやれることがあったと思う
- ・自社でできる範囲でしか活動をしていないから
- ・今回の震災は、まだまだ復興半ば。これからが本当の意味での支援活動が必要と思うから
- ・支援物資について、役所等には届いていた物資が、各避難所へ届けられないことがあったので、対策が必要だと思ふ
- ・ボランティアをしたことで、家業にダメージが大きくなってしまった
- ・被災者の方のニーズに十分対応できたかどうか分からない
- ・その時その時に必要に応じて動いているので特別なことはできない。だから、満足とか不満とかいう気持ちはない
- ・被災者の方々が前向きに希望を持ち歩み出す姿を見られる反面、被災地の現状はまだまだ厳しい面が残っている
- ・もっとできることがあるのではないかと考えている。物資支援は本当に喜んでもらったが、もっと広い範囲で少しずつでも長期間できるように努力が足りなかったのかなと思ふ
- ・今回は支援金として活動を行ったが、今後は支援物資の提供等もできたらいいなと思った
- ・できる範囲での支援活動は行ったと思うが、会社の業務継続が最優先となり、人的な支援活動は不十分と思う
- ・まだまだ必要とされている所は多くあるため
- ・中途半端に終わってしまったため
- ・まだ復興の途上であり、課題が山積みしている
- ・業務に余裕があれば、もっと活動ができたという無念さがある。仙台市外の沿岸部でのボランティアができなかったことも残念
- ・すべてが初めてのことで、やってよかったかどうか整理がつかない
- ・支援の規模があまりに小さいと思っているが、無理のないところで継続してゆくことに意義があるとも思える
- ・限られた日程での活動だったことで、役に立ったのかは分からない
- ・少額でも続けていくことが大切ではあるが、継続して行うことの難しさを感じる時がある
- ・現在の支援活動について、公平な支援をしたくてもできない部分があり、満足しているとは言えない

3.満足していない

- ・やりたいことはあったが、活動資金と生活資金が無かった
- ・主だった支援活動ができなかったことを反省している
- ・まだまだ力不足
- ・住宅地で支援物資をどこへ届けようか場所がわからなかったことで、配布できなかった
- ・まだ支援できたのではないかと考えているが、余裕がなかった
- ・組織としての意志統一がしにくい環境だった
- ・今年で3度、義援金を送っているが、具体的に誰にどう使われているのか分からない。また、被災商興会とも連携できることがあるはずだが、できていない
- ・個人経営の店舗の再開と家族を優先し、いつまでもできないと思った。できるならもう少し長くやりたかった
- ・まだまだ足りない。やりたいことが山ほどある。支援に行きたい場所ももっとある
- ・燃料(ガソリン)が確保できず、支援、ボランティアに行く皆さまへ、レンタカーを提供できなかった
- ・もっと多くの人を助けたかったが、当社の事業規模が小さく、できなかった
- ・自分たちも被災者であり、人材を提供するだけの余力が無かった

3-10 支援・ボランティア等の活動について

■ 今後、仙台市内および周辺地域で災害などが起きた場合、この度の経験を生かして支援・ボランティア活動を行いたいと思いませんか。

はい …86.1% いいえ …13.9%

1.そう思う

- ・困ったときは助け合いたと思った
- ・専門店として家具の修理、手配等は経験として生かしたい
- ・屋外での炊き出しには自信があるので、生かしたい
- ・その時々で、できる範囲で、必要とされることをしていきたい
- ・困った時は、お互い様なので、できる範囲内で活動したい
- ・反省点を生かしてやりたい
- ・社会の中で、人に対して何ができるか考えている
- ・助け合うことは重要。どんなことでもよいから、その時やることをやっていくことが当たり前だと思う
- ・人のためにできることをするだろうと思う
- ・今回培った経験が、大いに生かせると思う
- ・専門医としての技術をもっているため、それを生かしたい
- ・当社では社員一人ひとりが社会の一員であると考え、地域の方々と連携しながら今回同様支援活動を行いたい
- ・何か役に立ちたいから
- ・食料、水、ガスボンベ等の緊急物資の提供に参加したい
- ・助けてもらった時の感謝の気持ち、うれしさは何とも言えない喜びだった。自分も役に立てたらと思う
- ・商品の供給体制を考えたいと思った
- ・行いたいと考えているが、少人数の弊社としては業務をやりながらの支援活動を行うと、社員の負担も増えると思うので、ここが課題だと思う
- ・食品の製造販売会社で、食品を食べられる利点がある。実際に物資を支援したところからは感謝状等を頂戴し、改めて使命感を強く感じた
- ・今回の震災で、人手が多く必要であると実感したので
- ・周辺の方々より温かい励ましの言葉があったからこそ、従業員一丸となり早々と営業再開することができたと思っている。助け合いは必要なので、自らできることは進んで行きたい
- ・他県からの支援やボランティア活動を見ていて、今後こういうことがあったらできるだけ活動を行いたいと思った
- ・常々、社会貢献活動に興味があり、社会貢献ができればと思う
- ・自店、自宅の被害を経験し、もし自分に余裕があれば必ずお手伝いしたい
- ・その場には何が必要で、誰が活動するのが良いか、マッチングをすることで、もっと役に立てると思う

- ・人助けをすることで、自分も幸せを感じることができるから
- ・その時点でできることを行う
- ・今回、思うように活動できず後悔している。今後は人の役に立つようにしたい
- ・今回は自社の営業再開で他に手が回らず、ボランティア活動ができなかった。今回の経験を生かし、可能であれば支援・ボランティア活動をしたいと思う
- ・沢山の方々から助けていただいたので、可能であれば参加したいと思う
- ・今回の震災で遠方の方々より多大な支援を受けたので、今後できる限り何らかの支援を行いたいと思っている
- ・困っている人を助けてあげたい。被災した方々に温かい食事を食べてもらい、少しでもほっとする時間を提供したい
- ・自分のできる範囲で、善意がきちんと伝わる形であれば、人の役に立ちたい
- ・地域に貢献したい
- ・一人ではできないことも、みんなですることできるし、心の支えにもなる
- ・ボランティアを実際に行き、本当に不可欠なものであると実感した
- ・今回の経験を活かせばいろいろな支援ができると思う。物資だけではなく、被災した方の生活支援、インフラ整備、心のケア等にも協力していきたい
- ・弊社がその時の状況で何ができるかを考え、的確な支援を積極的に行い、地域に貢献していきたい
- ・一人でも多くの方々の助けになれるよう、できる限りのことを行いたいと思う
- ・会社は地域で支えられている。地域の皆さまが困っている時には、支援を行うのは当然だと思う
- ・今回の経験で、お互いに助け合っていくことは、とても必要だと感じたため
- ・たくさんの方に喜んでもらいたい
- ・困っていた方の助けになりたい
- ・震災の経験と教訓を全国へ伝えたい。コミュニティ放送局としての使命を果たしたい
- ・今回いただいた恩はいつの日か返したい
- ・地元企業として、地域貢献は必要だと思う
- ・自店舗が無事であれば、炊き出しで支援したい
- ・「会社」や「企業」としてではなく、地域に互いに存在するものとしての役割を果たすことが重要だと思う

2.いいえ思わない

- ・組合員への支援で手いっぱいになってしまう
- ・弊社では人手が少なく、自社の業務を優先してしまうため
- ・自分自身の健康や営業等を考えるのみで、余裕が無い
- ・70代半ばで体の方もままならない。でも何かできる時は少しでもしたい
- ・自分の仕事(薬局)を早く再開することが、地域住民の望むところであると考えている
- ・地域のライフライン(LPガス・灯油・ガソリン・米穀・建設資材等)等を扱っている、自社の他事務所の応援が優先されると思うため
- ・災害時、薬局の仕事に対する要望が高まるため、仕事に専念することが、地域住民奉仕につながると思う
- ・時間及び金銭的、人的余裕がない
- ・テナントの対応に追われて無理だと思うが、できることがあれば参加する
- ・直接災害を受けた場合、当事者としてボランティアは難しい。今回の経験で被災者間での互いの支援、手助けは十分になしたと思う。まず被災当事者本人が自立することが重要であろう。行政はその間を補完する支援が必要ではないかと思う
- ・社員数が少なく自社の業務しかできず、ボランティア活動には参加できない

3-11 支援・ボランティア等の活動について

■ この度の支援・ボランティア活動を通して得た教訓や、伝えたいことを教えてください。

・人間の絆を実感した	・食中毒による二次被害防止のため、消毒液の用意・設置が必要だと思った。また、炊き出しに使用する鍋が余りにも大きすぎて調理する時の効率が悪かったので、調理器具・機材の見直しも必要だと思った
・助け合う、分かち合う気持ちを改めて確認できた	・人と人とのつながりの大切さ、命の大切さを改めて実感した
・震災直後は材料の調達に苦労はしたが、一緒に手伝ってくれた学生さんのおかげで続けることができた。昔からの取引先の人も力になってくれ、感謝している	・震災直後すぐにお客さまへシャンプローのサービスを提供した際、泣いて喜ばれる方の姿があったことが印象的だった。今後も引き続き、できる限りの支援活動を行っていきたい
・人のつながりが一番大事だと思った	・小さな支援・ボランティアであっても、皆で行えば大きな力となることを実感した
・小さなことでもよいから、できることをやればよいと思った	・商店街からの物資の提供や近所の人たちの支援等、地域コミュニティーの大切さを改めて感じることができた
・速やかに活動するために、連絡網の整備が必要だと思った	・情報が氾濫していた。必要な情報がどれなのか、精査が大切だと思った
・全国からの支援やボランティアに、とても感謝している	・時間の経過や、場所によってもニーズが異なり、現場に行かないと判断できないことが多かった。同じ場所で継続的に支援すること、人間関係を築いていくことも大事だと思った
・被災者の方が必要としている商品を仕入れるようにした。下着や防寒衣料等も提供し、大変喜んでいただいた	・「継続は力なり」の言葉を再認識した
・まず、体を動かすことができないお年寄りの方や、一人暮らしの方を優先的に助けることが必要だと思った	・時間がたってから動くのではなく、すぐに行動することが必要だと思った
・困っている人がどこにいてその人は何が必要かの情報を共有することが大切だと思った	・まだまだ復興には時間がかかりそうだが、小さなことでも継続したいと思う
・まず、やれることを実施していくことが大事だと思った	・他人同士でも大変な時は、声をかけあって頑張れた。人と人との繋がりには本当に大切だと改めて感じた
・まずは手の届く所からやることが大切。どんな小さなことでも、そこから始まると伝えたい	
・思いやりの気持ちを持ち続けることが大切だと思った	

アンケートにご協力いただきました商店・事業所・振興組合等（敬称略・五十音順）

■店舗・事業所

相崎旅館、(株)赤井沢、(株)赤澤紙業 仙台支店、あさかわふとん店、(有)浅久、(有)浅見商店 ラ・サーミビル、(有)あずたいむ鈴信、(株)アスナロコーポレーション、NPO法人 あなたの街のそうずやさん、アフリーク・ソレイユ、(株)阿部蒲鉾店、晩翠亭いこい荘 旅館、居酒屋 まんげつ、石澤塗工店、(有)イトウ印刷、(有)伊藤昭一 魚店、(株)今庄青果、ウジエスーパー 中山店、うなぎ竹亭、栄光舎クリーニング店、SMBCコンシューマーファイナンス(株) 仙台お客様サービスプラザ、エディーパウアー・ジャパン 仙台中央店、aimerfeel 仙台マールロード店、(株)エンタツ、(株)おいけい、(有)大井青果、(株)太田ビル、オオタ理容、お直し処 萬屋、柿沼米穀店、家具のユノメ 本店、カットインカワムラ、カットハウス 創、かとう理容所、(株)鐘崎、(有)カネヒサ小野海苔店、(株)河北仙販 中山支店、髪工房C-CRAFT、カラカミ観光(株) 秋保グランドホテル、我流久留米らーめん 麵屋 よか〇(よかまる)、河合塾仙台校、菅公学生服(株) 仙台営業所、菊寿司、KISEI、北日本電材(株)、北原建材工業(株) 仙台営業所、(株)京屋、京屋クリーニング店、(株)金港堂、GINZA TANAKA 仙台店、銀座ライオン 仙台一番町店、(株)錦章堂、金太郎理容、CROSS美容室、(有)ケイカンパニー、(有)啓和産業 fromK、気仙沼 あさひ鮎 仙台店、健康ハーフデイ南光台、源氏、(有)けんと、小泉薬局、小泉薬局 3丁目店、弘進商事(株)、(株)コスモリネンサプライ、コダマ(株)、(合)児玉糸店、胡麻ジャン麺の店 第1ススキノ、THE TROOPER'S BAR、(有)齋藤惣菜店、さくら寿司、合同会社 更科(仙臺更科)、(有)山高商事、(有)さん竹、(株)ジー・アイ・ビー、(株)シーガル、(株)シーズ、ジェイアール東日本レタリース(株) 仙台営業所、しかのや、ジャパン・エンヂニアリング(株) 仙台工場、庄子理容所、(宗)昌伝庵、志ら梅ビル(株)、(株)白松がモナカ本舗 仙台駅前店、(株)シロキ 東北支店、新栄不動産ビジネス(株)、(株)新仙台駅前ビル、(株)鈴喜陶器店、(有)雀屋本舗横山かまぼこ店、すずや化粧品、ステラ(旧ネクスト、ヘアーズ・ズギモト)、スナック 白い恋人たち、住まいるハウス、smoke(スモーク)、製帽 すすむ、(株)千足屋 仙台店、せんだい泉エフエム放送(株)、仙台医療技術専門学校、仙台卸業商事(株)、仙台観光(株)、仙台螺子(株)、仙台美術研究所、仙台フォームタイ(株)、仙台マンション(株)、(有)そごうクリーニング、そば処南洲、(株)だいた久製麺、高忠整体施術院、宝食品、武田動物病院、(株)橋寿司、たまき整骨院、地域生活オウエン団せんだい、中華レストラン とらの子、中国料理 ロザン、中条幸一 デンタルオフィス、(株)つくや、(有)辻コーポレーション東龍門、土屋不動産(株)、(株)テイク・ワン、(株)テイジンインテリアーズ仙台、焼肉の店 てなむ、東一センタービル(株)、東栄産業(株)、(有)東京洋傘、東邦鋼鐵(株)、東北アイホー調理機(株)、東北カラーデューブ(株)、東北交通共済共同組合、(株)東北第一興商、東北七県配電工事(株)、東北藤井(株)、(株)トーフク、ドコモサービス東北(株)、(株)トシマ仙台支店、友寿司、(株)トヨタレタリース、中山歯科、鳴海屋紙商事(株)、(株)南光台金物、日振工務(株) 東北支店、(株)日専連ライフサービス、(株)日本現像所 サンタスク事業部、飲喰処 まきば、ハート&ドリーム、Part2三ノ宮、Barber 日の出・理容店、(株)白牡丹、(株)ハナサク、花菱縫製(株) 仙台店、(株)ハミングバード・インターナショナル、(株)早坂サイクル商会、半沢サイクルショップ、ビューティー・イン・ファイブ、美容室 シローの店 宮町店、美容室 mannish、(株)日吉、(有)ひらが、富久寿司、(株)福寿司、ホテルふじや、(株)不二屋クリーニング店、(株)仏壇の佐正、(株)仏壇の佐正 仲見世店、ふとんの菅野 菅野製綿(有)、(株)フラワー中山、(株)フレッシュログ、(株)文化情報、分福寿司、ヘアサロン カナヤ、ヘアサロン スギ、(株)菊地恵一商店、(有)ペットショップさまん、ヘルスケアアリマ、(株)ペンギン薬局、ほくと商事(株)、ホテルニュー水戸屋、ホルモン・焼肉 ゴロー、(株)松澤蒲鉾店、(株)松や、丸三商事(株)、(株)まるしんシステム(まるげんベジフル青果)、(有)丸松園(茶)、ミートショップ マルイチ、(株)南仙台振興ビル、(株)宮城野、ミュゼプラチナム 仙台一番町店、(株)三好堂、むかでや、武蔵野産業(株) 仙台営業部、むらかみ接骨院、明和電器産業(株)、(株)水晶堂眼鏡店、盛岡ランドリー舎、社の都信用金庫 本店営業部、(株)杜リゾート、(有)八百義・なかやまランドリー、焼肉バルバル 南光台店、湯の原ホテル、よしつね、ラーメンとんかつ 忠、Love-Face、REGAL 仙台、理容 ミヤザワ、理容 ヤング、理容 ココヤマ、理容おおば、理容サロンウジエ、理容 庄司、理容 ミッキー、旅館 オタマヤ、レストラン開拓家、(株)和田商レナーク・イスト(美容室)、ワタヒョウ(株)、(福)わらしべ舎 わらしべ舎 西多賀工房

■振興組合・宮城県生活衛生同業組合

一番町一番街商店街振興組合、一番町四丁目商店街振興組合、おおまち商店街振興組合、クリロード商店街振興組合、国分町三丁目友和会、サンモール一番町商店街振興組合、名掛丁商店街振興組合、長町駅前商店街振興組合、南光台商店街振興組合、西多賀商店街振興組合、文化横丁共栄会、宮城県寿司商生活衛生同業組合、宮城県美容業生活衛生同業組合、宮城県料理業生活衛生同業組合、宮町商店街振興組合

当事例集を制作するにあたり、仙台市内の商店街や個人商店、事業所等の皆さまにはアンケート調査および取材にご協力いただき、ありがとうございます。多くの回答をお寄せいただきましたが、紙面の都合上、掲載できない商店・事業所等も多数ありますことをこの紙面をお借りしてお詫びいたします。

東日本大震災における

仙台市の商店・事業所の支援活動事例集

発行日 2014年3月31日

発行 仙台市市民局 市民協働推進課
〒980-0802 仙台市青葉区二日町1-23
TEL 022-214-8002 FAX 022-211-5986

企画制作・印刷 凸版印刷株式会社 東日本事業本部

*本誌掲載情報は平成26年2月5日現在のものです。

